

R8.5.14 研修参加者アンケートのまとめ

A:本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

1. タッチケアの効果と重要性の理解

- ・触れ合いは子どもだけでなく、保育者や保護者にも安心感や安定をもたらすなど、多くのプラスの効果があることを学んだ。
- ・触れることで相互に心が満たされる関係づくりにつながることを実感した。

2. タッチケアの実践と発達への働きかけ

- ・筋力を刺激するマッサージなど、子どもの成長に必要な関わり方を実際に体験し、具体的な方法を身に付けることができた。
- ・今後の保育の中で、意識的にタッチケアを取り入れて心身共に発達を促したいと感じた。

3. 触れ合いはコミュニケーション手段であるという気付き

- ・タッチケアは単なるマッサージではなく、愛着形成や安心感を育む大切なコミュニケーションであり、大人同士にも有効であると理解した。
- ・言葉だけでは伝わらない思いを補う手段として重要であると実感した。

4. 日常の中で相手の良さを見付けることの大切さ

- ・自分の良いところを相手に伝えてもらうと、うれしい気持ちになることを実感したことで、子どもに対して、日常の中で小さくても、その子の良さに気付く視点を持つことの大切さを学んだ。
- ・日々継続することで、より良い人間関係づくりにもつながると感じた。

5. 保育実践への意欲と活用イメージの広がり

- ・研修で学んだわらべうたやスキンシップ、タッチケア、災害時の抱っこ紐の使い方等、日々の保育の様々な場面で生かすことができると思い、取り入れたいという意欲が高まった。

B:本日の学びや気付きを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

1. 触れ合いを大切にしたい関わりの実践

- ・子どもと積極的に触れ合い、丁寧に話しかけることで、子ども・保育者ともに安心して過ごせる環境をつくっていききたい。
- ・日々の関わりの中で信頼関係を深め、心身ともに安定できるような関わりを目指したい。

2. タッチケアの継続的な実践と活用

- ・子どもの健康や発達を支えていく方法の1つとして、学んだマッサージ（睡眠・腸・骨への働きかけ）を日々の保育に取り入れていききたい。
- ・子どもの様子に合わせて無理なく取り入れ、継続して実践していききたい。

3. 子ども一人一人との関係づくりの充実

- ・わらべうたや手遊び、タッチケアを通して、子ども一人一人と丁寧に関わり、愛着形成を深めていききたい。
特に愛着を求めている子どもには意識的に関わり、安心感を育んでいきたい。

4. 保護者や職員への共有と連携

- ・クラスの担当職員や保護者にもタッチケアの方法や大切さを伝え、参観日などを通して親子で実践できる機会をつくりたい。
- ・より良い関わりや避難時の抱っこ紐の使い方等、研修内容を園全体で共有し、広がってほしいと思う。

5. 肯定的な関わりと安心できる保育環境づくり

- ・子どもの良いところを見つけて伝えたり、スキンシップをしたりすることで、心の距離を縮め、子ども達が安心して過ごせるようにしたい。
- ・子ども同士でも認め合える雰囲気育て、温かいクラスづくりにつながっていききたい。